



2026年1月21日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 C E O 鍵 本 忠 尚
(コード番号: 4593 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 C F O リ チ 亞 ド ・ キ ン ケ イ ド
(T E L : 0 3 - 4 5 9 0 - 8 0 0 9)

アルフレッサ社との体性幹細胞培養上清液の取引基本合意書締結のお知らせ

当社は、2026年1月21日開催の当社執行役会において、アルフレッサ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 福神 雄介、<https://www.alfresa.co.jp/> 以下、「アルフレッサ社」といいます。）との間で、同日付で当社が製造するヒト（同種）骨髓由来体性幹細胞培養上清液（製品名：HLSI071、以下「体性幹細胞培養上清液」といいます。）の継続的な売買に向けた取引基本合意書（以下、「本合意書」といいます。）の締結について決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本合意書の概要

当社は、再生医療分野における革新的な治療法及び製品の開発と提供を目指して事業を開拓しております、その一環として、体性幹細胞培養上清液を基盤とした製品の研究開発および製造販売を推進しております。

医薬品卸売業の国内リーディングカンパニーであるアルフレッサ社との本合意書の締結は、当社製品の安定的かつ効率的な流通を実現し、顧客への体性幹細胞培養上清液の迅速な提供を可能とする体制構築について協議することを目的としております。当社とアルフレッサ社との間では、2024年6月5日付の「アルフレッサ社との業務提携基本契約及び社債買取契約締結のお知らせ」のとおり、当社の取り扱う製品等の流通、販売に関する業務提携基本契約を締結しており、本合意はその業務提携を発展させるためのものです。本合意書に基づき両社は、製品流通及び供給体制の具体的な取引内容の詳細について協議を重ねていく予定であり、今後国内外の顧客への製品提供が促進されることが期待されます。

対象製品：

ヒト（同種）骨髓由来体性幹細胞培養上清液（HLSI071）

なお、当社は、2025年1月16日付の「セルリソーシズ社との細胞培養上清液の製造に関する業務提携に向けた基本合意書締結のお知らせ」のとおり、セルリソーシズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：有田 孝太郎、アルフレッサ ホールディングス株式会社100%出資、以下、「セルリソーシズ社」といいます。）と製造に関する業務提携に向けた協議を進めておりましたが、アルフレッサ社との本合意書締結ならびに自社運営による培養上清向け細胞加工製造用施設稼働にともない、セルリソーシズ社との協議を終了いたしました。

2. 相手先の概要

| (1) 名 称 | アルフレッサ株式会社 | | |
|--|--|---------------|---------------|
| (2) 所 在 地 | 東京都千代田区神田美土代町 7 番地 | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 福神 雄介 | | |
| (4) 事 業 内 容 | 医療用医薬品、医療機器、医療用検査試薬、介護用品、健康食品、一般用医薬品等の卸売販売 | | |
| (5) 資 本 金 | 4,000 百万円 | | |
| (6) 設 立 年 月 | 2004 年 10 月 | | |
| (7) 決 算 期 | 3 月 | | |
| (8) 従 業 員 数 | 5,821 名 (2025 年 3 月 31 日現在) | | |
| (9) 大株主及び持株比率 | アルフレッサ ホールディングス株式会社 100% | | |
| (10) 当事会社間の関係 | | | |
| 資 本 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| 取 引 関 係 | 当社は当該会社との間で、業務提携基本契約及び社債買取契約を締結しております。 | | |
| 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はありません。 | | |
| (11) アルフレッサ ホールディングス株式会社における最近 3 年間の経営成績及び財政状態 | | | |
| 決算期 | 2023 年 3 月期 | 2024 年 3 月期 | 2025 年 3 月期 |
| 純 資 産 | 488,335 百万円 | 479,859 百万円 | 482,247 百万円 |
| 総 資 産 | 1,339,852 百万円 | 1,447,625 百万円 | 1,439,885 百万円 |
| 1 株当たり純資産 | 2,411 円 89 錢 | 2,566 円 50 錢 | 2,650 円 27 錢 |
| 売 上 高 | 2,696,069 百万円 | 2,858,500 百万円 | 2,961,051 百万円 |
| 営 業 利 益 | 30,148 百万円 | 38,460 百万円 | 38,080 百万円 |
| 経 常 利 益 | 32,831 百万円 | 39,997 百万円 | 40,485 百万円 |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 25,786 百万円 | 29,558 百万円 | 27,389 百万円 |
| 1 株当たり当期純利益 | 127 円 42 錢 | 154 円 13 錢 | 147 円 54 錢 |
| 1 株当たり年間配当金 | 57 円 00 錢 | 70 円 00 錢 | 63 円 00 錢 |

(注) アルフレッサ社は東証プライム市場に上場するアルフレッサ ホールディングス株式会社が親会社である企業グループの中核企業であるため、当該企業の連結決算の数値を記載しております。

3. 本合意書の日程

決議日 : 2026 年 1 月 21 日

基本合意書締結日 : 2026 年 1 月 21 日

4. 今後の見通し

本合意書締結による当社連結業績への現時点での影響はありません。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

■アルフレッサ社について

2004 年の設立以来、アルフレッサ社は医療用医薬品をはじめ、医療機器や検査試薬、栄養食品などを国内外約 1,000 社のメーカーから仕入れ、病院・診療所や薬局等に安心・安全に届ける卸売事業を中心に、人々の健康に貢献する様々なサービスを提供しています。

全国約 170拠点のネットワークを活かし、各地域の事情に合わせたそれぞれの地域包括ケアシステムの構築をサポートしつつ、様々な情報提供サービスやソリューションツールを通じて、医療現場の業務効率化や医療の質向上に寄与する活動を行っています。

<https://www.alfresa.co.jp/>

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となることが見込まれています。株式会社ヘリオスは、iPS 細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011 年に設立、2015 年に株式上場（東証グロース:4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品である HLCM051 を使用した急性呼吸窮迫症候群（ARDS）や脳梗塞急性期及び外傷の治験を実施しています。HLCM051 は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示すことが示されており、様々な病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D 培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。株式会社ヘリオスは、脳梗塞急性期、ARDS、外傷に対し、HLCM051 をグローバルに推進してまいります。iPSC 再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞であるユニバーサルドナーセル（UDC: Universal Donor Cell）を作製し、さらには、遺伝子編集技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代 NK 細胞（eNK®細胞）の開発を、株式会社 Akatsuki Therapeutics の主導で進めています。eNK®細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリアクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。

<https://www.healios.co.jp>